

生活と政治をつなぐ情報紙

# 生活者通信

東京・生活者ネットワーク

No.254

2012.11.1

※毎月1回1日発行  
※1994年5月23日第三種郵便物認可



●7月14日、東京・生活者ネットワーク2013都議選政策討論集会を開催。政策委員会が中心となってまとめた「2013東京政策」をもとに、「原発0で持続可能な社会をつくる」「命を育む食を守る」「自分らしく働き・暮らせる社会をつくる」など10の柱にそって、ワークショップを行い、政策実現に向けての具体的な活動を共有した。集会後半には、第1次公認候補者が発表され、候補予定者が一人一人決意を述べた。西新宿で



## 2013都議選 東京を『自治』のまちに 市民の力で都政改革



●2013年都議選候補予定者。[写真左]左から、山内れい子(国分寺/国立・現職)、西崎光子(世田谷・現職)、星ひろ子(昭島・現職)、[写真上]奈須りえ(大田・新人)、[写真右上]やない克子(練馬・新人)、[写真右]小松久子(杉並・新人)

■発行 東京・生活者ネットワーク  
■〒160-0021  
東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル5階  
TEL03-3200-9189 FAX03-3200-9274  
■Eメール tokyo@seikatsusha.net  
■ホームページ http://www.seikatsusha.net  
■発行責任者 山口文江  
■定価 年間1000円・1部100円  
■郵便振替口座 00130-3-18417

**都** 都議会第4回定例会、11月30日～12月14日。「東京都肝炎対策指針」策定、「東京都消費生活基本計画改定中間まとめ」（東京都消費生活対策審議会）のパブリックコメント募集。

**ネット** ●江戸川 小松川自然地・里川プロジェクト「ヨシ刈りとヨシズ編み」11月18日(日)13:00～15:00 荒川河川敷・小松川自然地(都営新宿線東大島駅) 参加費無料 主催:里川小松川自然地協議会  
●大田 市民が学ぶ政治塾「防災について今一度」11月24日(土)18:00～20:00 大田・生活者ネットワーク事務所 資料代300円  
●昭島 地域と都政をつなぐ政策ゼミ 12月1日(土)13:00～ フィールドワーク「崖線の緑の質を見る」講師:国際生態学センター研究員  
●府中 上映会「原発ほんまかいな」12月8日(土)14:00～ ルミエール府中第1・2会議室 参加費無料

### 2013 東京都議会議員選挙にむけて

東京・生活者ネットワーク 2013年都議選選対委員長/代表委員/都議会議員 [世田谷区]

#### 西崎光子

3・11東日本大震災と続く原発事故は、すべての国民にそれまでの価値観からの転換を迫っています。原発問題や待ったなしの復興支援は、国民の意思に沿って政治主導で決定すべきですが、政府・野田政権はエネルギー政策の見直しを先送りし、主たる国政政党は、原発再稼働にむけて巻き返しをはかっています。

一方、4期目に入った石原知事は突如、尖閣諸島買収構想を発表。以来、それまで培ってきた日中の文化交流も経済関係も途絶し、東アジア地域の紛争の火種ともなっています。領土問題をめぐる交渉は、歴史を振り返るまでもなく、偏狭なナショナリズムでは解決を導かないことは自明です。

また、2020年の東京へのオリンピック招致に意欲的ですが、東京のまちは少子超高齢化とインフラの老朽化を迎え、社会保障や住まい、医療、福祉など生活課題は山積しており、オリンピック招致に浮かっている場合ではありません。都民の生活を守る施策の推進こそが優先されるべきであり、東京こそが被災地の復興支援に汗を流すべきときです。

「原発の是非を問う都民投票条例」制定を求める直接請求は署名数が32万筆を超えたにもかかわらず、都議会での議論は形式的で、議論を深めたとは言えません。閉鎖的で権威的な都議会を改革し、市民が参画・決定している新しい民主主義のしくみをつくり上げていかねばなりません。

来夏の都議会議員選挙にむけて東京・生活者ネットワークは、6人の候補予定者の擁立を決定しました。議員特権を廃止し、市民に開かれた都議会に変えるためには、なんとしても生活者ネットワークの議席増が必要です。

真摯に、力強く活動をすすめてまいります。

▼7月14日の政策討論集会終了後は、新宿と渋谷の駅頭に繰り出し、現職都議3人と新人候補予定者の奈須りえが、生活者ネットワークの政策をアピールした

